

政策研究クイズの試行的な実験結果-問題ごとの状況

問題	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10
識別力a	0.645(0.577)	2(0.753)	2(0.641)	0.946(0.589)	2(0.753)	2(0.702)	0.463(0.743)	2(0.725)	0.354(0.717)	0.22(0.792)
困難度b	-1.236(0.667)	2(0.579)	-0.962(0.306)	1.339(0.52)	2(0.579)	0.961(0.284)	-0.696(0.807)	1.107(0.291)	1.355(1.065)	2(1.672)
問題	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20
識別力a	1.851(0.609)	2(0.773)	2(0.54)	2(0.792)	0.718(0.612)	0.862(0.567)	2(0.792)	0.562(0.7)	0.713(0.593)	2(0.631)
困難度b	0.628(0.3)	-1.501(0.35)	-0.067(0.309)	-2(0.531)	-0.386(0.557)	-0.027(0.483)	-2(0.531)	-0.373(0.674)	-0.891(0.587)	-0.785(0.297)

赤字部分: 最適化プロセスで発散を防ぐために課していた、 $0 < a < 2$, $-2 < b < 2$ というboundary conditionの境界に達してしまったもの

- 特に $a > 2$ となってしまうと、問題に対するLLMの応答が2PL logitで説明できない可能性も高くなる
- $b < -2$ だと優しすぎLLMがほとんどすべて正解てしまい、 $2 < b$ だと難しすぎてLLMがほとんど正解できない

そこそこLLMの能力推定がうまく言っていると思われる問題例

Q11

令和6年度4月時点で、創発的研究支援事業の第1～3期生研究者の研究活動時間割合は平均どの程度でしょうか。当てはまるものを一つ選んでください。
A～Dに当てはまるものが無い場合は、Eを選択してください。

- A. 20～30%
- B. 30～40%
- C. 40～50%
- D. 50%以上
- E. A～Dの中に当てはまるものはない

回答はA, B, C, D, Eのうちアルファベット1文字のみでお願いします。

Q15

国立大学法人に基盤的経費として配分される運営費交付金のうち、成果を中心とする実績状況に基づく配分について、文部科学省にて定められている配分指標として当てはまらないものを一つ選んでください。A～Dの全てが当てはまる場合は、Eを選択してください。

- A. 博士号の授与状況
- B. 卒業・修了者の進学等の状況
- C. 常勤教員あたり科研費獲得額・件数
- D. 常勤教員によるスタートアップ創出数
- E. A～Dの全てが当てはまる

回答はA, B, C, D, Eのうちアルファベット1文字のみでお願いします。

Q16

日本学術振興会（JSPS）の特別研究員制度（DC1・DC2）について、収入に関する制限を適切に表しているものはどれですか。当てはまるものを一つ選んでください。
A～Dに当てはまるものが無い場合は、Eを選択してください。

- A. 国内外を問わず、雇用保険や社会保険等への加入条件に該当するような勤務形態の職でなく、研究専念義務を全うできると判断される職の副収入は認められる。
- B. 大学フェローシップ創設事業との重複受給は認められる。
- C. 次世代研究者挑戦的研究プログラムとの重複受給は認められる。
- D. 博士課程教育リーディングプログラムとの重複受給は認められなかつたが、卓越大学院プログラムについては、重複受給が認められるようになった。
- E. A～Dの中に当てはまるものはない

回答はA, B, C, D, Eのうちアルファベット1文字のみでお願いします。

Q19

特別研究員（DC）で、月額20万円以上の生活費を制度上得られる方法として、正しいものはどれですか。当てはまるものを一つ選んでください。A～Dの全てが当てはまる場合は、Eを選択してください。

- A. 研究専念義務を順守しながら、RAに従事する。
- B. 週1回2時間程度のTAに従事する。
- C. 研究に努め、採用最終年度のタイミングで成績優秀者に選ばれ、特別手当の追加支給を得る。
- D. 社会通念上、常勤職と見なされない範囲でのアルバイトを行う。
- E. A～Dの全てが当てはまる

回答はA, B, C, D, Eのうちアルファベット1文字のみでお願いします。